

実際に使用する際は、必ず商品に書いてある説明をよく読んで、記載内容に従ってお使いください。

効能：蚊成虫の駆除

ご使用前に

はじめてお使いになる時は、上部の保護バーを取り除いてください。（保護バーを取り除く際には、誤ってボタンを押さない様、十分注意してください。）

〔使用方法〕

噴射バルブのボタンを押すと噴射できます。

■蚊に直接噴射するか、蚊が潜んでいそうな場所に1～2m離れた所から噴射する。

■作業場所の周りの茂み、地面など蚊が潜んでいそうな場所に付着させるように噴射してください。噴射する場合は、風上から噴霧量を加減して使用するなど注意して、1～2秒ずつ断続的に噴射してください。目安として5㎡に15秒です。（本品はジェット噴射のため、約3分40秒で全量噴射されます。）

・60秒以上連続噴射しない。

・使用状況、気温、風向き、降雨などの条件により、持続効果は変動します。

〔使用上の注意〕 ファンターマーク 炎への噴射禁止マーク 換気マーク

＜してはいけないこと＞

●人体に向けて噴射しない。また、噴霧を直接吸入しない。

＜相談すること＞

- 万一、誤って薬剤を大量に吸入するなどして身体に異常を来たした場合は、直ちに使用を中止し、出来るだけ本品を持って本剤がピレスロイド系殺虫剤であることを医師に告げて診療を受ける。
- 万一、誤って薬剤が眼に入った場合は、直ちに水でよく洗い、異常があれば眼科医の手当てを受ける。

＜その他の注意＞

- 定められた使用法を必ず守る。
- 体調のすぐれない時の散布はさける。
- アレルギー症状やカブレを起こしやすい体質の人は、薬剤に触れないようにする。
- 皮膚、飲食物、食器類、おもちゃ、周辺の人家、通行人、衣類、家具などの家財類、ペット類（観賞魚、小鳥など）、洗濯物、農作物、ペットの餌、飼料、自動車、壁などの塗装面、大理石、御影石等にはかからないようにする。
- 風向きなどを考え、風上から散布するなどして、噴霧を吸い込んだり浴びたりしないように注意。作業後は直ちに手足、顔など皮ふの露出部を石けんでよく洗い、うがいをする。
- 皮膚についた時は石けんと水でよく洗う。
- 散布中は散布区域に小児やペットが立ち入らないようにする。
- 室内では使用しない。
- ペット小屋に噴射しない。
- 水槽、池、河川などに噴霧が入らないように注意。
- 本品は植物に影響の少ない成分を使用しているが、垣根や庭木にはじめて使用する場合は、一部で葉害の有無を確認してから使用する。
- 食用作物、草花、活着前の植物、栽培管理（水やり、肥料やり等）が不十分で生育不良の植物、花卉などにはかからないように注意する。
- 屋外で噴射後、蚊の飛来が認められた場合は、再度噴射する。
- 噴霧がこもりやすい場所では換気すること。
- 缶を逆さまにして使用しない。噴射ガスがなくなり、薬剤が噴霧されずに残ることがある。

＜廃棄の方法＞

- 使用後のエアゾル缶は、戸外でガスを出しきってから廃棄する。

<保管および取り扱い上の注意>

- 飲食物・食器類と区別し、小児の手の届かない場所に保管する。
- 火気を避け、なるべく冷所に保管する。
- 水回りや湿気の多い場所に置かない。缶が錆びて破裂する危険がある。
- 直射日光の当たる所、夏場の車内、ファンヒーターなどの暖房器具や加熱源の周囲及び火気の近くは温度が上がり破裂する危険があるので置かない。

■ガス抜き機構の使い方

- 中身を使いきった後、10円硬貨と同サイズのコインをボタン上部のガイドの下に差し込んでボタンをロックする。
- 噴射音が完全に消えてから数分間そのまま放置した後、缶ゴミとして適切に廃棄する。

■注意事項

- 必ず中身を使いきってから行う。
- 火気・風のない屋外で、引火及び人や動物への影響のない場所で行う。
- コンクリート・大理石・芝生等、汚れる心配のある所、自動車・壁等の塗装面の近くでは行わない（変色・薬害）。
- ガイドへのコインの差し込みは、廃棄のガス抜き作業以外では行わない。